

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 29 年 1 月 19 日 (2017.1.19)

【公開番号】特開 2015-111376 (P2015-111376A)  
 【公開日】平成 27 年 6 月 18 日 (2015.6.18)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-039  
 【出願番号】特願 2013-253523 (P2013-253523)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

G 0 6 F 21/31 (2013.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/12 K

G 0 6 F 21/20 1 3 1 A

G 0 6 F 3/12 C

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 12 月 2 日 (2016.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

情報処理装置であって、

プリンタドライバの設定の初期値として用いる ID とパスワードを設定する設定手段と

、  
 前記情報処理装置にログイン可能な複数のユーザのうち、いずれのユーザがログインして起動しても前記プリンタドライバが共通して書き込み可能なファイルに、前記 ID と前記パスワードと前記情報処理装置にログインしているユーザ名をセットとして保存する保存手段と、

保存された前記セットのうち、前記情報処理装置にログインしているユーザ名と同一のユーザ名が記載されているセットが存在するか判断する判断手段と、

前記判断手段により前記ユーザ名が同一であると判断した前記セットに含まれる前記 ID と前記パスワードを前記プリンタドライバの設定の初期値として表示する表示手段と、を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記 ID と前記パスワードは部門管理印刷で用いられ、前記部門管理印刷が指示されていない場合は前記判断手段による判断は行われないことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

ユーザが印刷設定をモノクロに設定して印刷処理を実行した場合には前記判断手段による判断は行われないことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記保存手段は前記セットに親展印刷のパスワードを含めて保存することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記保存手段が新たに保存しようとしている ID とパスワードが前記ファイルに既にセットとして保存されている場合に、既に保存されている前記セットのユーザ名に前記情報

処理装置にログインしているユーザ名を追記することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記表示手段は前記パスワードをユーザが識別不可能な状態で表示することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

コンピュータにおいて実行されるプログラムであって、

前記コンピュータに、

プリンタドライバの設定の初期値として用いる ID とパスワードを設定する設定工程と

、

前記コンピュータにログイン可能な複数のユーザのうち、いずれのユーザがログインして起動しても前記プリンタドライバが共通して書き込み可能なファイルに、前記 ID と前記パスワードと前記コンピュータにログインしているユーザ名をセットとして保存する保存工程と、

保存された前記セットのうち、前記コンピュータにログインしているユーザ名と同一のユーザ名が記載されているセットが存在するか判断する判断工程と、

前記判断工程により前記ユーザ名が同一であると判断した前記セットに含まれる前記 ID と前記パスワードを前記プリンタドライバの設定の初期値として表示する表示工程と、  
を実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 8】

前記 ID と前記パスワードは部門管理印刷で用いられ、前記部門管理印刷が指示されていない場合は前記判断工程による判断は行われなかったことを特徴とする請求項 7 に記載のプログラム。

【請求項 9】

ユーザが印刷設定をモノクロに設定して印刷処理を実行した場合には前記判断工程による判断は行われなかったことを特徴とする請求項 7 又は請求項 8 に記載のプログラム。

【請求項 10】

前記保存工程は前記セットに親展印刷のパスワードを含めて保存することを特徴とする請求項 7 乃至 9 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

【請求項 11】

前記保存工程で新たに保存しようとしている ID とパスワードが前記ファイルに既にセットとして保存されている場合に、既に保存されている前記セットのユーザ名に前記コンピュータにログインしているユーザ名を追記することを特徴とする請求項 7 乃至 10 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

【請求項 12】

前記表示工程は前記パスワードをユーザが識別不可能な状態で表示することを特徴とする請求項 7 乃至 11 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

【請求項 13】

情報処理装置の制御方法であって、

プリンタドライバの設定の初期値として用いる ID とパスワードを設定する設定工程と

、

前記情報処理装置にログイン可能な複数のユーザのうち、いずれのユーザがログインして起動しても前記プリンタドライバが共通して書き込み可能なファイルに、前記 ID と前記パスワードと前記情報処理装置にログインしているユーザ名をセットとして保存する保存工程と、

保存された前記セットのうち、前記情報処理装置にログインしているユーザ名と同一のユーザ名が記載されているセットが存在するか判断する判断工程と、

前記判断工程により前記ユーザ名が同一であると判断した前記セットに含まれる前記 ID と前記パスワードを前記プリンタドライバの設定の初期値として表示する表示工程と、  
を有することを特徴とする制御方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上記の目的を達成するための本発明に係る情報処理装置は、

プリンタドライバの設定の初期値として用いるＩＤとパスワードを設定する設定手段と

、

前記情報処理装置にログイン可能な複数のユーザのうち、いずれのユーザがログインして起動しても前記プリンタドライバが共通して書き込み可能なファイルに、前記ＩＤと前記パスワードと前記情報処理装置にログインしているユーザ名をセットとして保存する保存手段と、

保存された前記セットのうち、前記情報処理装置にログインしているユーザ名と同一のユーザ名が記載されているセットが存在するか判断する判断手段と、

前記判断手段により前記ユーザ名が同一であると判断した前記セットに含まれる前記ＩＤと前記パスワードを前記プリンタドライバの設定の初期値として表示する表示手段と、を有することを特徴とする。